

2023年1月30日
システムワークフロー検討作業部会

システムワークフロー検討作業部会 2023年度活動計画（審議）

2023年度においては、下記の(1)～(7)に掲げた目標を達成すべく活動を行うものとする。

- (1) 国内電子ブックの目録化と国外電子ブックへの対象拡大の検討
 - 国内電子ブックのプラットフォームベンダーから収集した電子ブック等の書誌レコードに、機関ごとのアクセス情報にあたる所蔵レコードを収集し、共有する仕組みを検討すること
 - 国外電子ブックの書誌レコードの収集、共有について、出版社や電子ブックのプラットフォームベンダーと折衝を開始すること
- (2) 電子リソースデータ共有
 - JUSTICE と調整し、「電子リソースデータ共有サービス」から、JUSTICE 契約の電子ジャーナルについて、タイトルリストのダウンロード配布ができるようになること
 - 「電子リソースデータ共有サービス」から海外ナレッジベースへの連携方法を検討すること
 - 電子ブックの書誌共有サービスをテスト公開すること
- (3) 国内デジタルアーカイブの流通促進
 - 「電子リソースデータ共有サービス」(MARC21) から IRDB (JPCOAR スキーマ) へのメタデータ変換による提供方法等を検討すること
 - 各機関からの実際のメタデータ収集方法を検討すること
 - 「電子リソースデータ共有サービス」をつなぎ役として、デジタルアーカイブのメタデータを共有する機能をテスト稼働させること
- (4) メタデータ流通の高度化
 - 「NCR2018 適用細則案」に基づいた「コーディングマニュアル」の改訂案を作成、公開する
 - VIAF とのデータ共有を踏まえた「著作」の単位について、国内関係組織と調

整のうえ、確定させること

(5) 統合的発見環境の整備

- 統合的発見環境及び次期 ILL システムに求める要件を具体化し、料金決済モデルの検討、決済機能の強化検討、電子的送信に関する調査・調整を行うこと
- シェアードプリントの実現に向けて統合的発見環境及び次期 ILL システムに求める要件の具体化を行うこと

(6) 図書館システム整備

- 共同調達を想定して、利用機関の規模等を加味しつつ、図書館システムに求める要件を具体化すること
- COUNTER 等をベースとした利用評価ツールの機能検証を行うこと

(7) 共同システムの安定運用の継続と移行支援

- ERDB-JP の安定的な運用・管理を引き続き継続すること
- NII と連携して NACSIS-CAT/ILL の移行を支援すること

以上